

平成28年3月期 決算説明資料

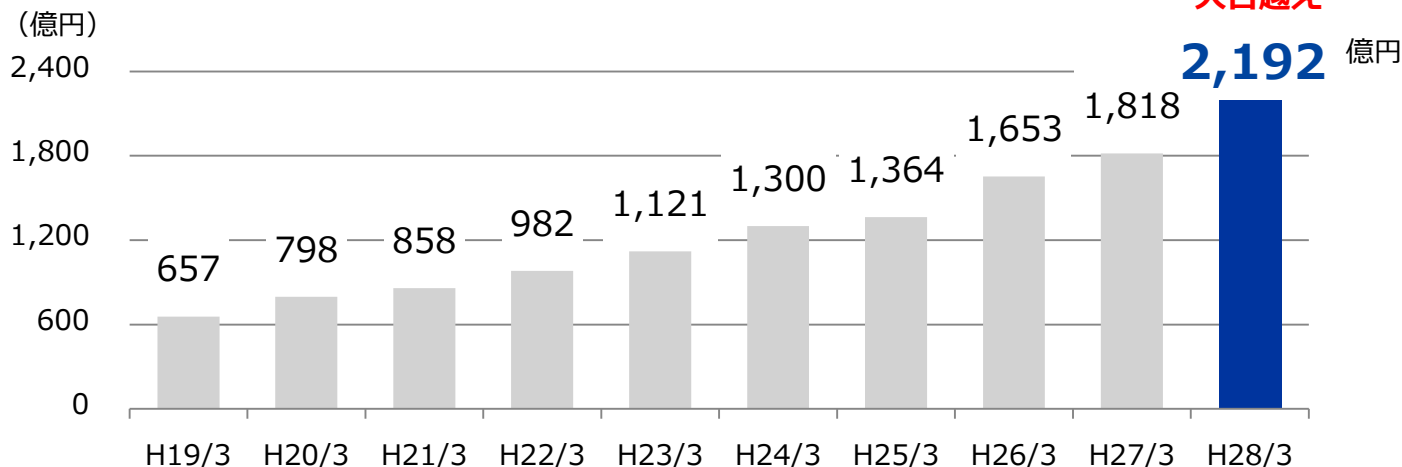
平成28年5月11日

 日本調剤株式会社

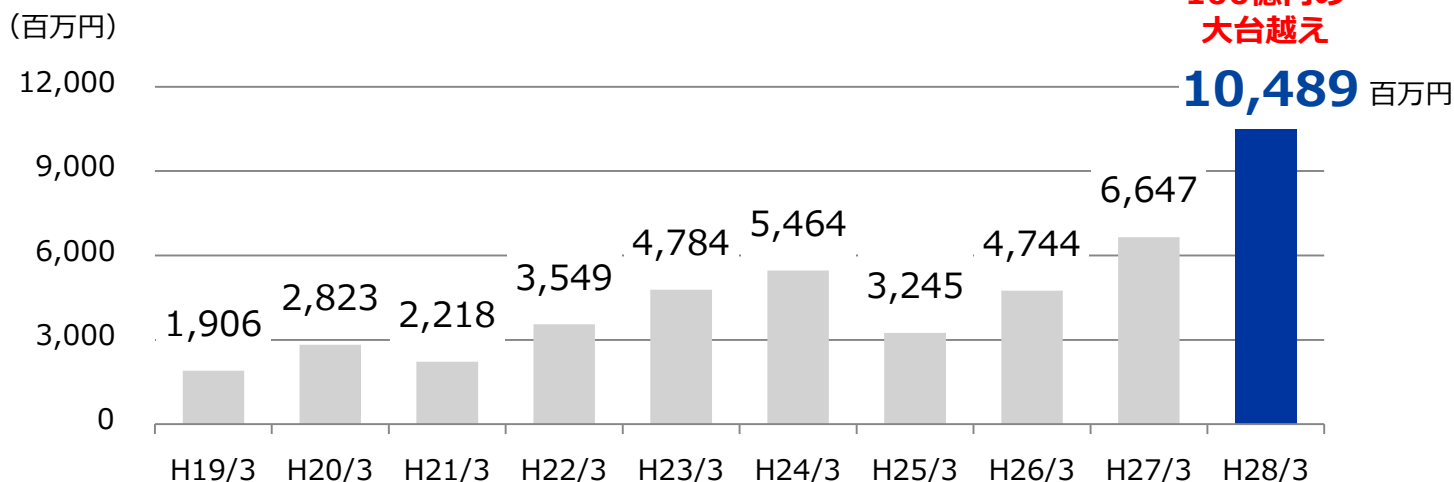
(東証一部/証券コード 3341)

I. 平成28年3月期 業績報告

◆ 連結売上高推移



◆ 連結営業利益推移



新中期経営計画 進捗状況



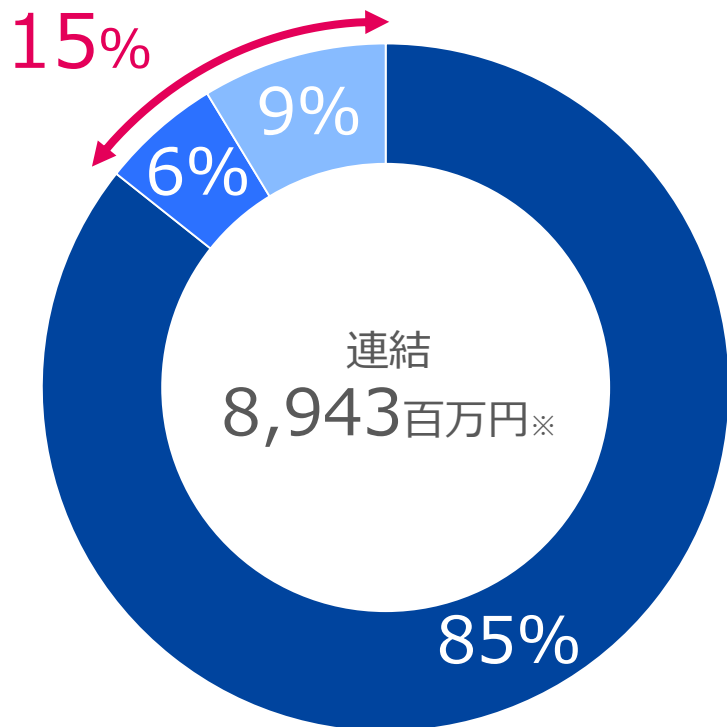
<売上高増加額：達成率**40%**>



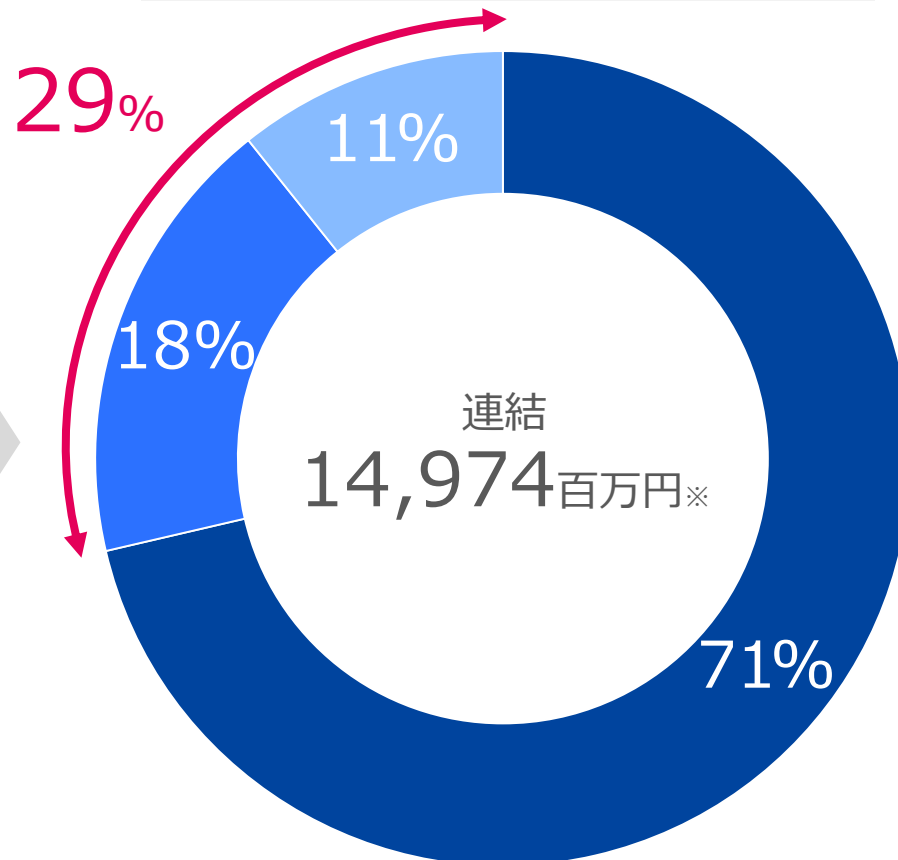
<営業利益増加額：達成率**68%**>

セグメント別 営業利益状況

平成26年3月期



平成28年3月期



■ 調剤薬局事業

■ 医薬品製造販売事業

■ 医療従事者派遣・紹介事業

※セグメント利益調整前

	H24/3	H25/3	H26/3	H27/3	H28/3
1株当たり当期純利益（円銭）※	145.46	12.84	131.24	194.48	432.85
自己資本当期純利益率	15.2%	1.3%	12.5%	16.6%	25.3%
総資産経常利益率	6.2%	3.1%	3.9%	4.9%	6.9%
売上高営業利益率	4.2%	2.3%	2.9%	3.7%	4.8%
自己資本比率	17.0%	15.5%	13.5%	13.6%	20.6%
フリーキャッシュフロー（百万円）	△2,567	△3,537	△8,267	△2,606	11,509
1株当たり純資産（円銭）※	1,023.97	1,017.04	1,090.63	1,257.59	2,030.22
期末株価（円）※	1,342.5	1,127.5	1,332.5	3,055.0	4,025
時価総額（期末株価）（百万円）	21,512	18,067	21,351	48,953	64,496
期末株価 / 1株当たり純資産額（倍）	1.31	1.11	1.22	2.43	1.98
期末株価 / 1株当たり当期純利益（倍）	9.23	87.85	10.15	15.71	9.30
年間配当金（円）	35.00	35.00	35.00	35.00	45.00
<株式分割前基準>	<70.00>	<70.00>	<70.00>	<70.00>	<90.00>

※ 平成27年10月1日を効力発生日として、1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
平成27年3月期以前の1株当たりの各指標及び株価については、株式分割の影響を考慮して算定しております。

(単位：百万円)

	H25/4- H26/3	H26/4- H27/3	H27/4- H28/3	対前年同期 増減額	同 増減率	H28/3 期初目標	目標 達成率
売上高	165,347	181,844	219,239	37,394	20.6%	207,523	105.6%
売上原価	139,723	149,915	180,171	30,256	20.2%	170,113	105.9%
売上総利益	25,623	31,929	39,068	7,138	22.4%	37,410	104.4%
販管費	20,878	25,281	28,578	3,296	13.0%	29,210	97.8%
消費税等	5,580	9,443	11,483	2,039	21.6%	—	—
研究開発費	1,534	1,767	1,913	145	8.3%	—	—
営業利益	4,744	6,647	10,489	3,842	57.8%	8,200	127.9%
対売上比 (%)	2.9%	3.7%	4.8%	—	—	4.0%	—
経常利益	4,188	6,003	9,878	3,874	64.5%	7,434	132.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,901	2,778	6,329	3,551	127.8%	3,583	176.6%

※当社会計処理では控除対象外消費税等については販管費に計上しております

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	H27/3末	H28/3末	増減額
流動資産	60,096	84,838	24,742
固定資産	70,044	72,770	2,726
有形固定資産	48,819	51,997	3,177
無形固定資産	10,376	10,122	△253
投資その他	10,848	10,650	△198
資産合計	130,141	157,609	27,468
流動負債	53,474	68,985	15,510
固定負債	59,031	56,151	△2,880
負債合計	112,505	125,136	12,630
有利子負債	68,327	66,794	△1,533
純資産合計	17,635	32,473	14,837
自己資本	17,635	32,473	14,837
自己資本比率	13.6%	20.6%	—

主な増減要因

【流動資産】

- ・現金及び預金 +18,432
- ・売掛金 +5,838

【固定資産】

- ・建物及び構築物 +2,888
- ・リース資産 +856
- ・建設仮勘定 +1,990

【流動負債】

- ・買掛金 +10,683
- ・短期借入金 △5,100
- ・1年以内償還予定の社債 +7,000

【固定負債】

- ・長期借入金 +4,436
- ・社債 △7,000

【純資産】

- ・資本剰余金 +6,172
- ・利益剰余金 +5,803
- ・自己株式 +3,015

(単位：百万円)

	H26/4-H27/3	H27/4-H28/3
営業活動による キャッシュ・フロー	5,831	19,327
投資活動による キャッシュ・フロー	△8,437	△7,823
財務活動による キャッシュ・フロー	1,422	7,031
現金・現金同等物の 増減額	△1,183	18,535
現金・現金同等物の 期首残高	15,027	13,844
現金・現金同等物の 期末残高	13,844	32,380

主な内訳

【営業活動によるCF】

・税金等調整前当期純利益	9,681
・減価償却費	4,461
・売上債権の増減額	△5,339
・たな卸資産の増減額	△881
・仕入債務の増減額	11,212
・法人税等の支払額	△2,695

【投資活動によるCF】

・有形固定資産の取得による支出	△6,880
-----------------	--------

【財務活動によるCF】

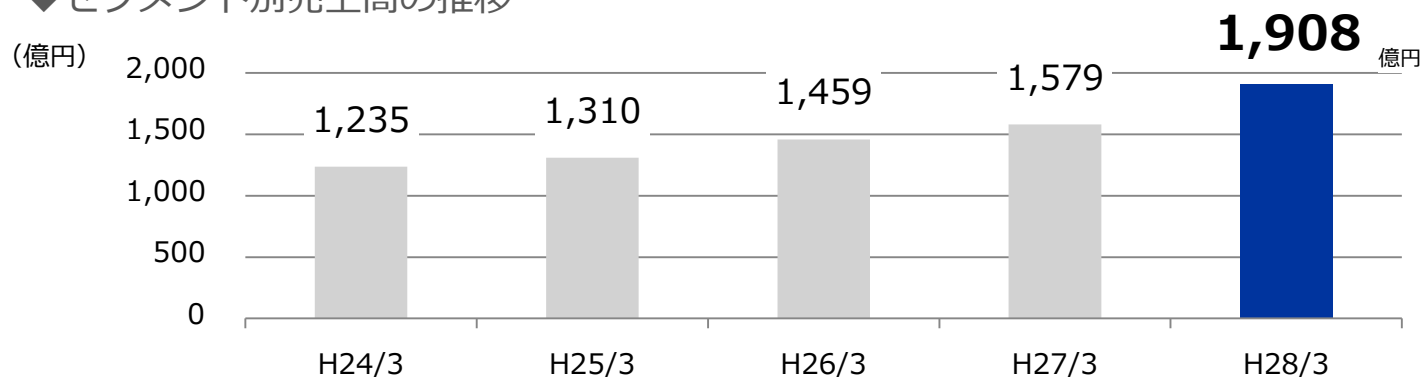
・短期借入金の純増減額	△5,100
・長期借入れによる収入	10,400
・長期借入金の返済による支出	△6,069
・自己株式の処分による収入	9,194

(単位：百万円)

	H25/4-H26/3	H26/4-H27/3	H27/4-H28/3	増減額	増減率
売上高	145,957	157,999	190,874	32,874	20.8%
営業利益	7,672	7,698	10,707	3,008	39.1%
対売上比 (%)	5.3%	4.9%	5.6%	—	—

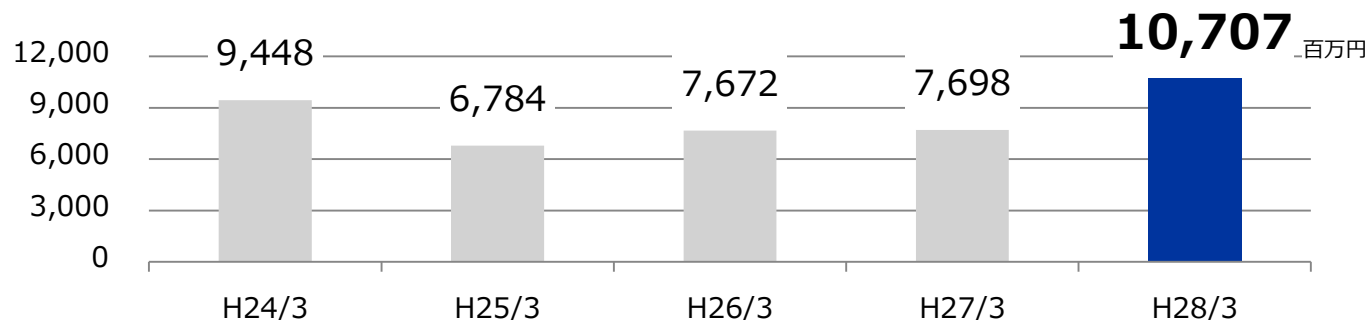
◆セグメント別売上高の推移

※セグメント間取引消去前



◆セグメント別営業利益の推移

(百万円)



◆日本調剤グループ出店期別 店舗調剤売上の推移

(単位：百万円)

	H28/3末 店舗数	H26/4-H27/3	H27/4-H28/3	増減額	増減率
既 存 店 (~H26/3)	470	151,262	176,430	25,167	16.6%
前 期 出 店 (H26/4~H27/3)	29	3,064	8,456	5,391	176.0%
今 期 出 店 (H27/4~H28/3)	27	—	3,609	3,609	—
そ の 他	—	1,580	319	△1,261	△79.8%
計	526	155,907	188,815	32,908	21.1%

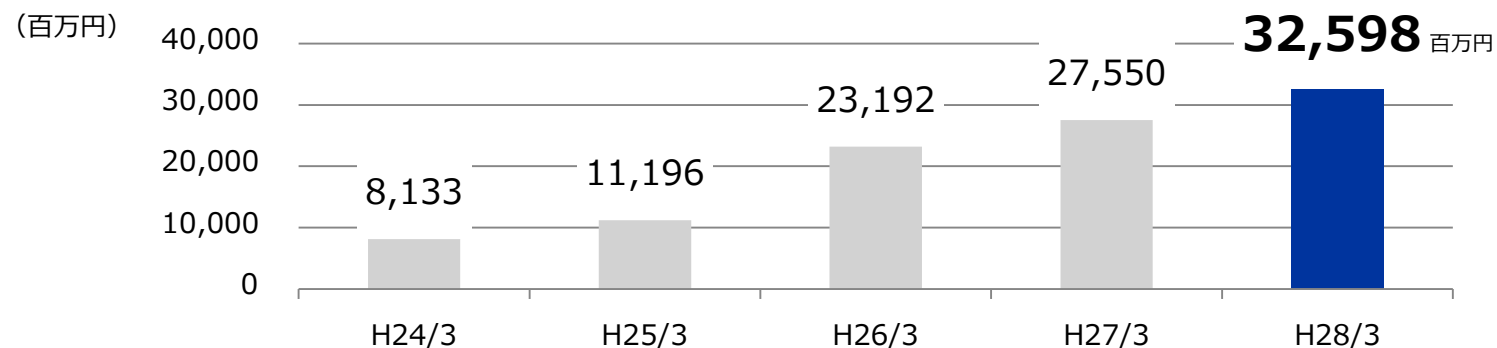
- ・ 調剤売上のみ（OTC等含まず）、発生ベース（返戻再請求を反映せず）。
- ・ 期中閉局店舗分はその他に集計しております。
- ・ 店舗数には物販専業の1店舗を含んでおりません。

(単位：百万円)

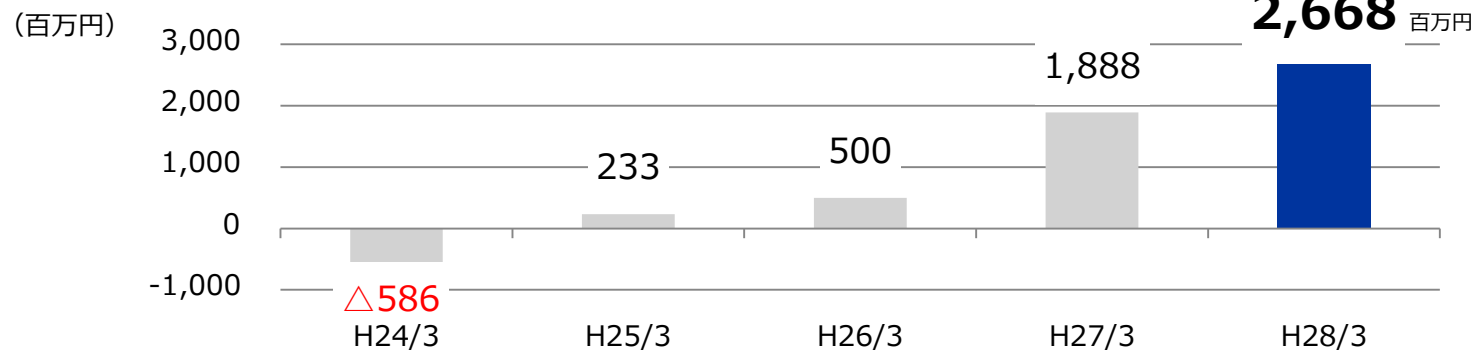
	H25/4-H26/3	H26/4-H27/3	H27/4-H28/3	増減額	増減率
売上高	23,192	27,550	32,598	5,047	18.3%
営業利益	500	1,888	2,668	779	41.3%
対売上比 (%)	2.2%	6.9%	8.2%	—	—

※セグメント間取引消去前

◆セグメント別売上高の推移



◆セグメント別営業利益の推移

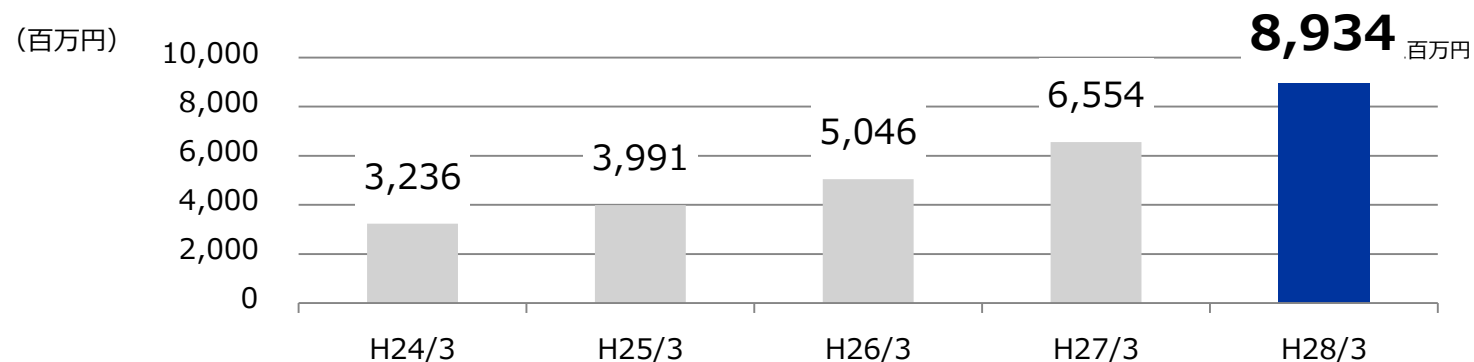


(単位：百万円)

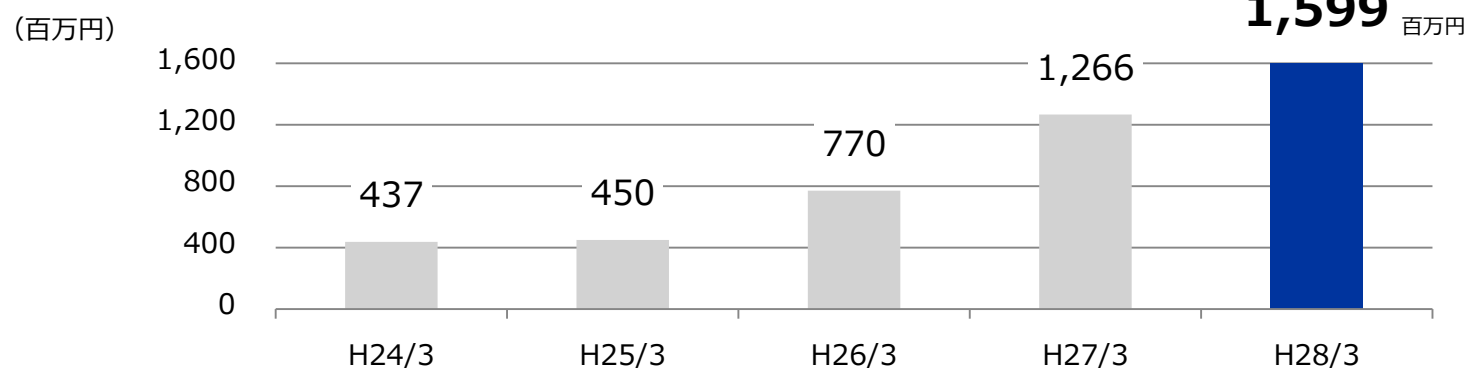
	H25/4-H26/3	H26/4-H27/3	H27/4-H28/3	増減額	増減率
売上高	5,046	6,554	8,934	2,379	36.3%
営業利益	770	1,266	1,599	332	26.3%
対売上比 (%)	15.3%	19.3%	17.9%	—	—

※セグメント間取引消去前

◆セグメント別売上高の推移



◆セグメント別営業利益の推移



◆連結業績目標

(単位：百万円)

	H27年3月期 実績	H28年3月期 実績	H29年3月期 目標	対前年比	
				増減額	増減率
売上高	181,844	219,239	240,013	20,773	9.5%
営業利益	6,647	10,489	11,165	675	6.4%
対売上比 (%)	3.7%	4.8%	4.7%	-	-
経常利益	6,003	9,878	10,778	900	9.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,778	6,329	6,642	312	4.9%

◆事業セグメント別売上目標 (セグメント間取引消去前)

(単位：百万円)

	H27年3月期 実績	H28年3月期 実績	H29年3月期 目標	対前年比	
				増減額	増減率
調剤薬局事業	157,999	190,874	197,536	6,662	3.5%
医薬品製造販売事業	27,550	32,598	46,271	13,673	41.9%
医療従事者派遣・紹介事業	6,554	8,934	10,500	1,565	17.5%
合計	192,104	232,406	254,308	21,901	9.4%

Ⅱ. 日本調剤グループの事業展開

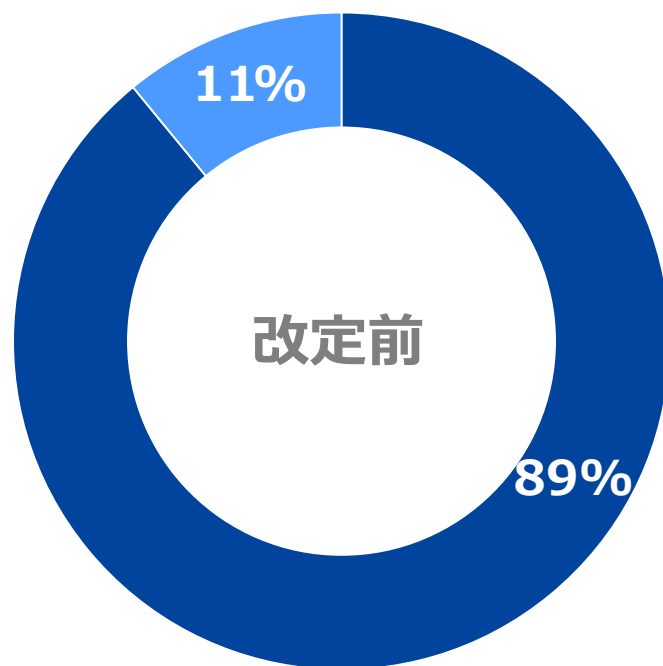
1. 今年度の主な改定ポイント

◆平成28年度診療報酬改定

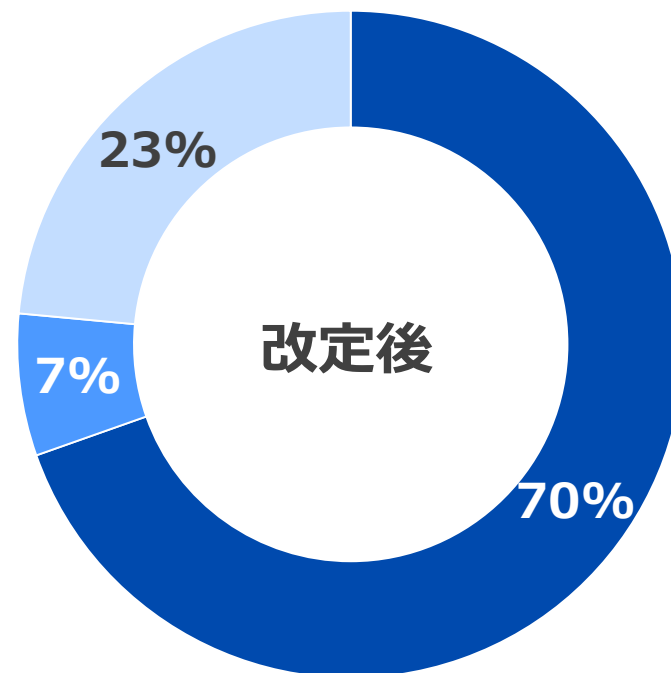
※出典：厚生労働省HP

変更項目	改定前	改定後	変更点
調剤基本料	基本料 1 (41点) 基本料 2 (25点)	基本料 1 (41点) 基本料 2 (25点) 基本料 3 (20点)	<ul style="list-style-type: none"> 基本料 2 の特例範囲の拡大 (処方せん受付回数2000回超&集中度90%超) 基本料 3 の追加 (受付回数月4万回超の薬局グループ&処方せん集中度95%超など)
基準調剤加算	加算 1 (12点) 加算 2 (36点)	加算 (32点)	<ul style="list-style-type: none"> 基準調剤加算の一本化 要件の見直し (在宅実績年1回以上、週45時間以上の開局、プライバシーへの配慮等)
後発医薬品調剤体制加算	加算 1 (55%以上:18点) 加算 2 (65%以上:22点)	加算 1 (65% 以上:18点) 加算 2 (75% 以上:22点)	<ul style="list-style-type: none"> 調剤割合の引き上げ
かかりつけ薬剤師指導料	(なし)	指導料 (70点)	<ul style="list-style-type: none"> かかりつけ薬剤師への評価を新設 (薬局勤務経験3年以上、勤務時間週32時間以上、在籍期間6ヶ月以上、研修認定取得など)

◆ 調剤基本料（算定店舗割合）

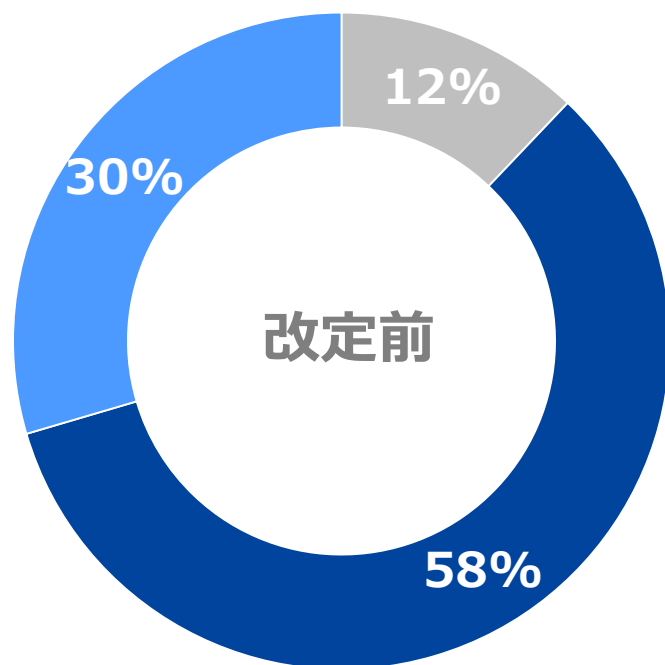


- 基本料 1 (41点)
- 基本料 2 (25点)

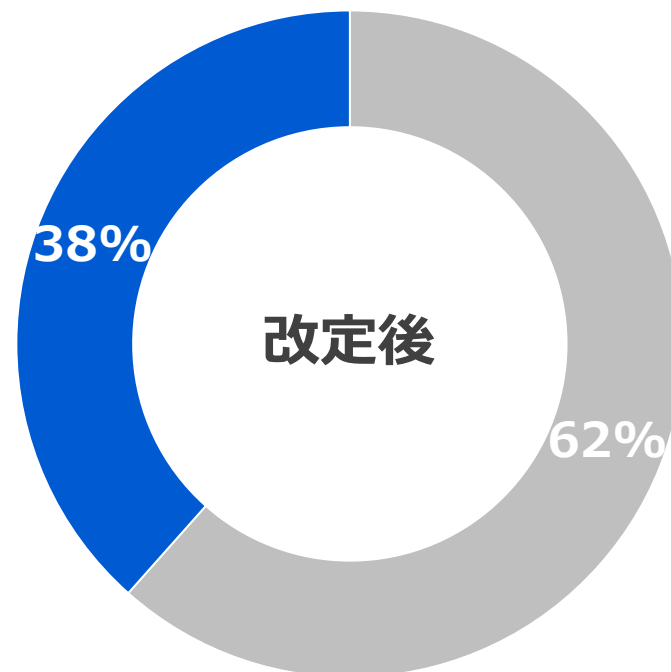


- 基本料 1 (41点)
- 基本料 2 (25点)
- 基本料 3 (20点)

◆ 基準調剤加算（算定店舗割合）

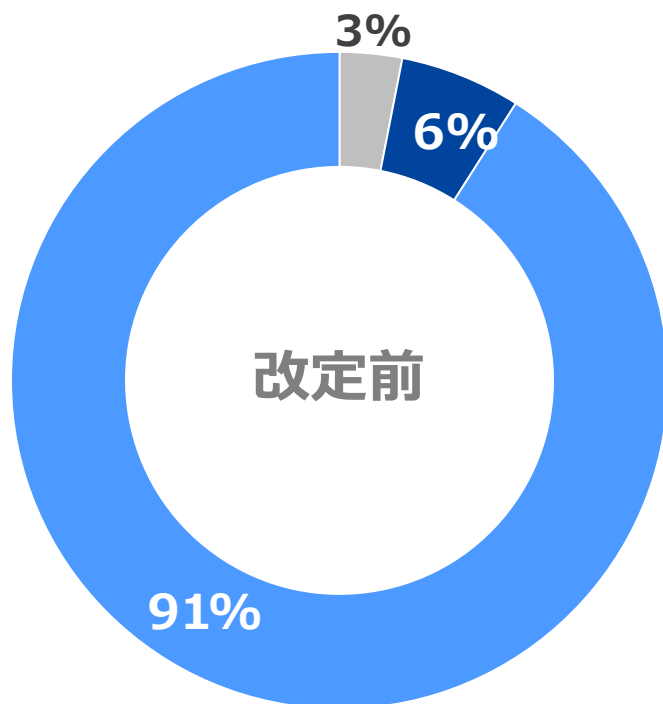


- 加算なし
- 加算1 (12点)
- 加算2 (36点)

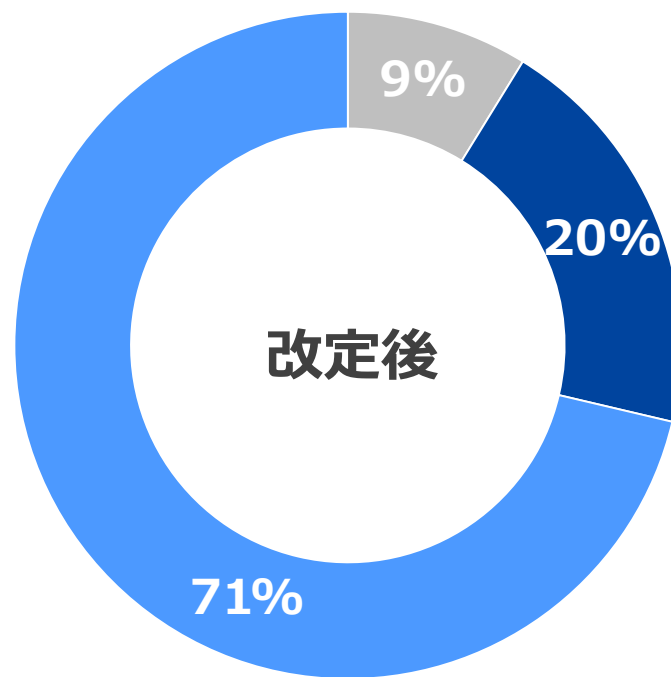


- 加算なし
- 加算あり (32点)

◆後発医薬品調剤体制加算（算定店舗割合）



- 加算なし（55%未満）
- 加算1（55%以上/18点）
- 加算2（65%以上/22点）



- 加算なし（65%未満）
- 加算1（65%以上/18点）
- 加算2（75%以上/22点）

◆ 当社の改定への対応施策

改定による変更項目	対応困難度	対応施策
調剤基本料	高	かかりつけ薬局の拡充強化 (かかりつけ薬剤師指導の充実)
基準調剤加算	中	人員配置の最適化 在宅医療の継続的实施
後発医薬品 調剤体制加算	中	ジェネリック医薬品使用割合の 引き上げ

◆ かかりつけ薬剤師指導料 (70点)

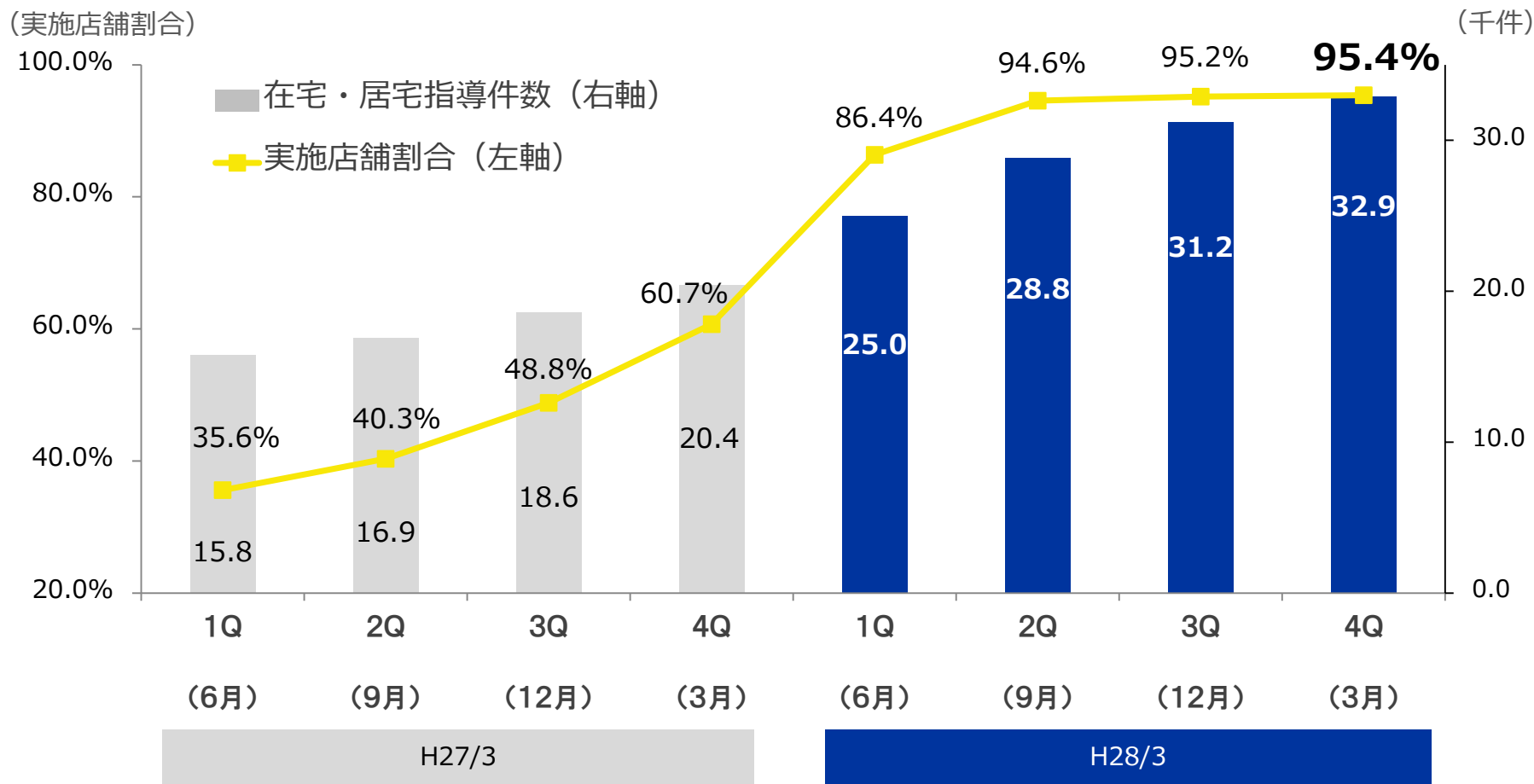
[主な算定要件・施設基準]

1. 患者同意については、患者が選択した保険薬剤師をかかりつけ薬剤師とすることの同意を得ることとし、当該患者の署名付きの同意書を作成したうえで保管する1人の患者に対して1人の保険薬剤師のみがかかりつけ薬剤師として算定できる
2. 当該指導料は、**同意**を得た次回来局時以降に算定する
3. 薬剤師として**3年**以上の薬局勤務経験があり、同一の保険薬局に**週32時間**以上勤務しているとともに、当該保険薬局に**6ヶ月**以上在籍していること
4. 薬剤師認定制度認証機構が認証している研修認定制度等の**研修認定**を取得していること（当該規定は平成29年4月1日から施行）
5. 医療に係る**地域活動**の取組に参画していること

※出典：厚生労働省HP

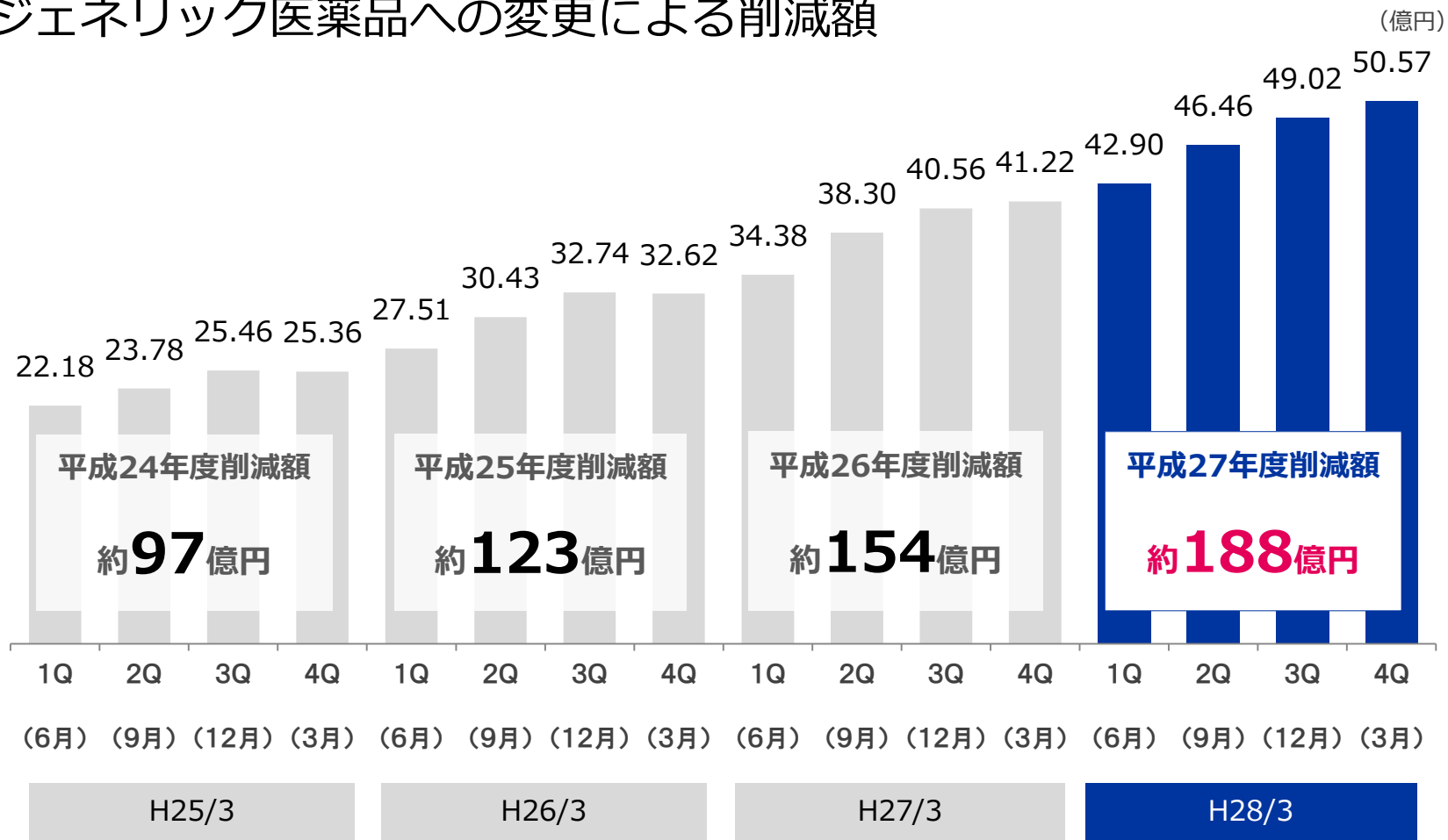
全店舗実施に向けてさらに強化

◆在宅指導算定件数と実施店舗割合 ※在宅実施店舗割合は期末時点での実績（直近12ヶ月に実績のある店舗）



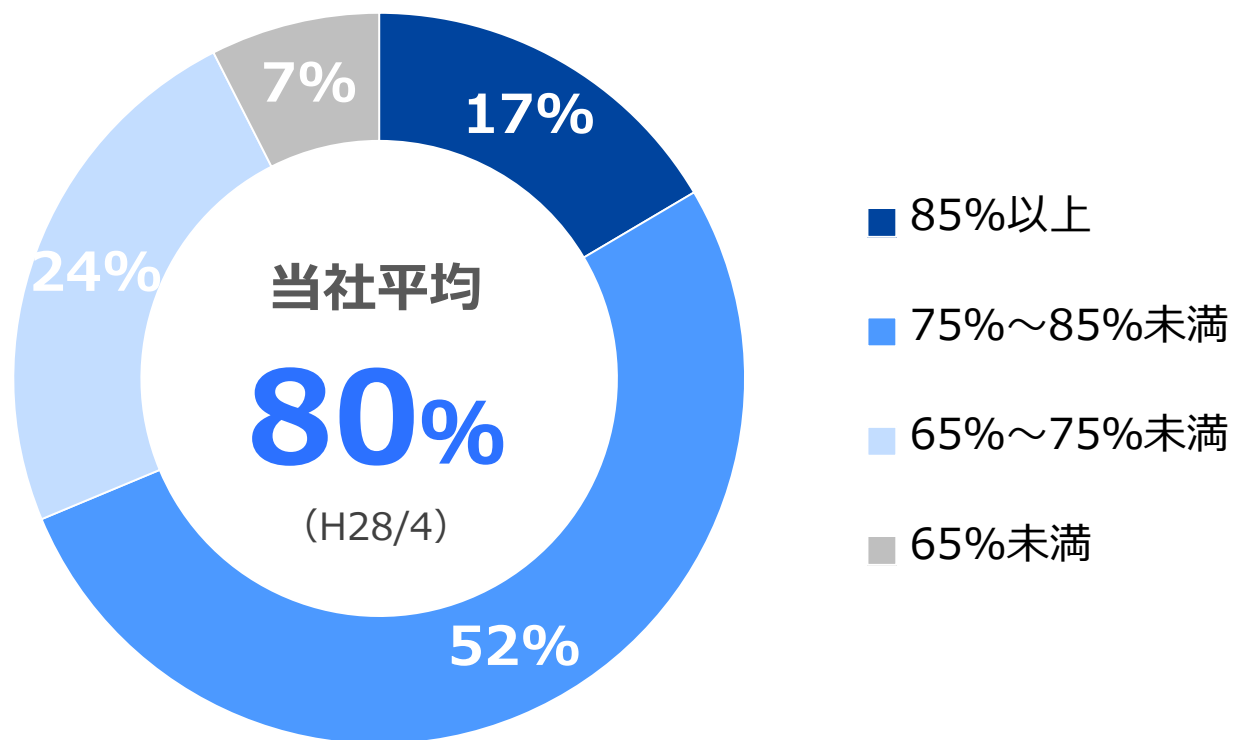
医療費削減に貢献

◆ ジェネリック医薬品への変更による削減額



政府目標に早くも到達

◆店舗別ジェネリック医薬品使用率状況（数量ベース） ※店舗割合はH28/3時点



会員数7万7000人突破※！電子お薬手帳の推進

※H28/5/9現在

◆電子お薬手帳相互閲覧サービス（日薬リンク付けサーバー）参加企業

参加している電子お薬手帳等

名称	提供組織	データ保存先	左欄の組織
大阪e-お薬手帳	(一社)大阪府薬剤師会	健康の庫	(株)STNet
日薬eお薬手帳	(公社)日本薬剤師会		
お薬手帳プラス	日本調剤(株)	日本調剤(株)	日本調剤(株)
ファルモお薬手帳	(株)ファルモ	ファルモクラウド	(株)ファルモ
神奈川マイカルテ			
サンキリチェッタ			
hoppe(ホッペ)	(株)リーベンス	(株)リーベンス	(株)リーベンス
おくすり手帳Link	(株)NTTドコモ	(株)NTTドコモ	(株)NTTドコモ



接続予定を含みます。

※出典：日本薬剤師会HP

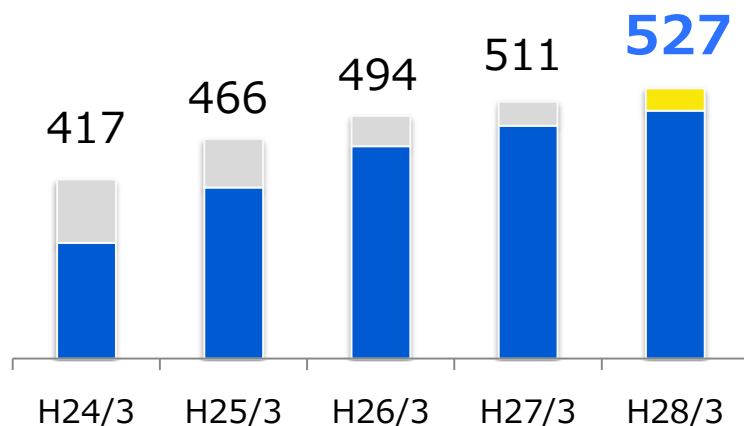
**積極算定による
患者さま満足度向上**



既存店舗の売上増へ

さまざまな機能を兼ね備えた店舗スタイルへ

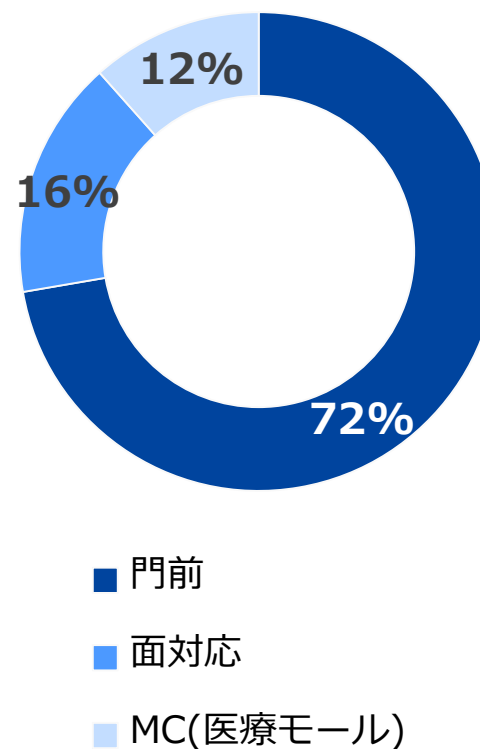
◆ 出店(予定)数



- 出店数 **27店舗**
(うち、M&A **5店舗**)
- 閉店数 **11店舗**
- 今期出店目標数 **約50店舗**

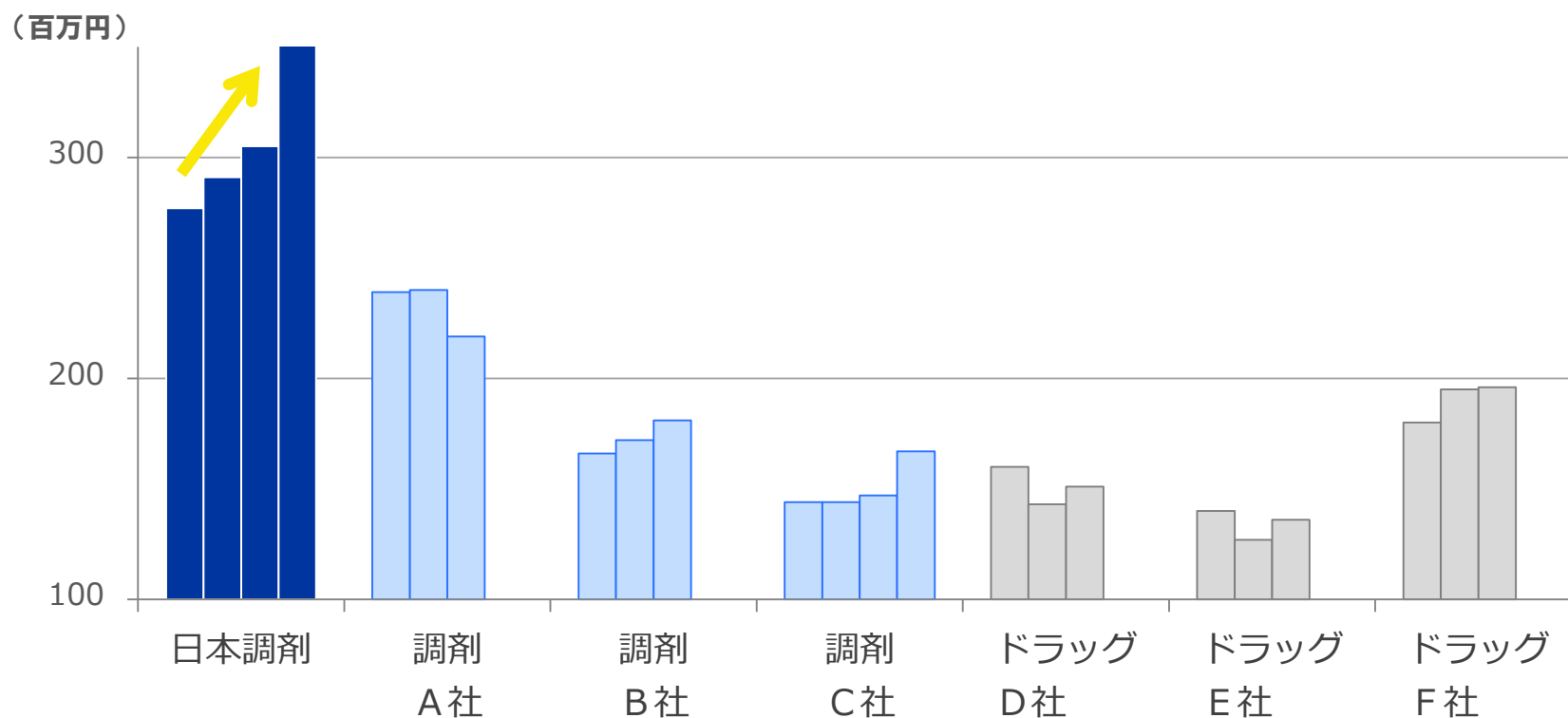
◆ タイプ別店舗割合 (H28/3 時点)

※物販専門の1店舗を含む



高い**経営効率**・**質**を重視した出店とM&A

◆ 1店舗あたり調剤売上高 (平成24年度～平成27年度)



※出典 医薬品産業ランキング
調剤薬局の一部、ドラッグストアについては平成26年度までの実績

医科でのジェネリック医薬品使用促進策

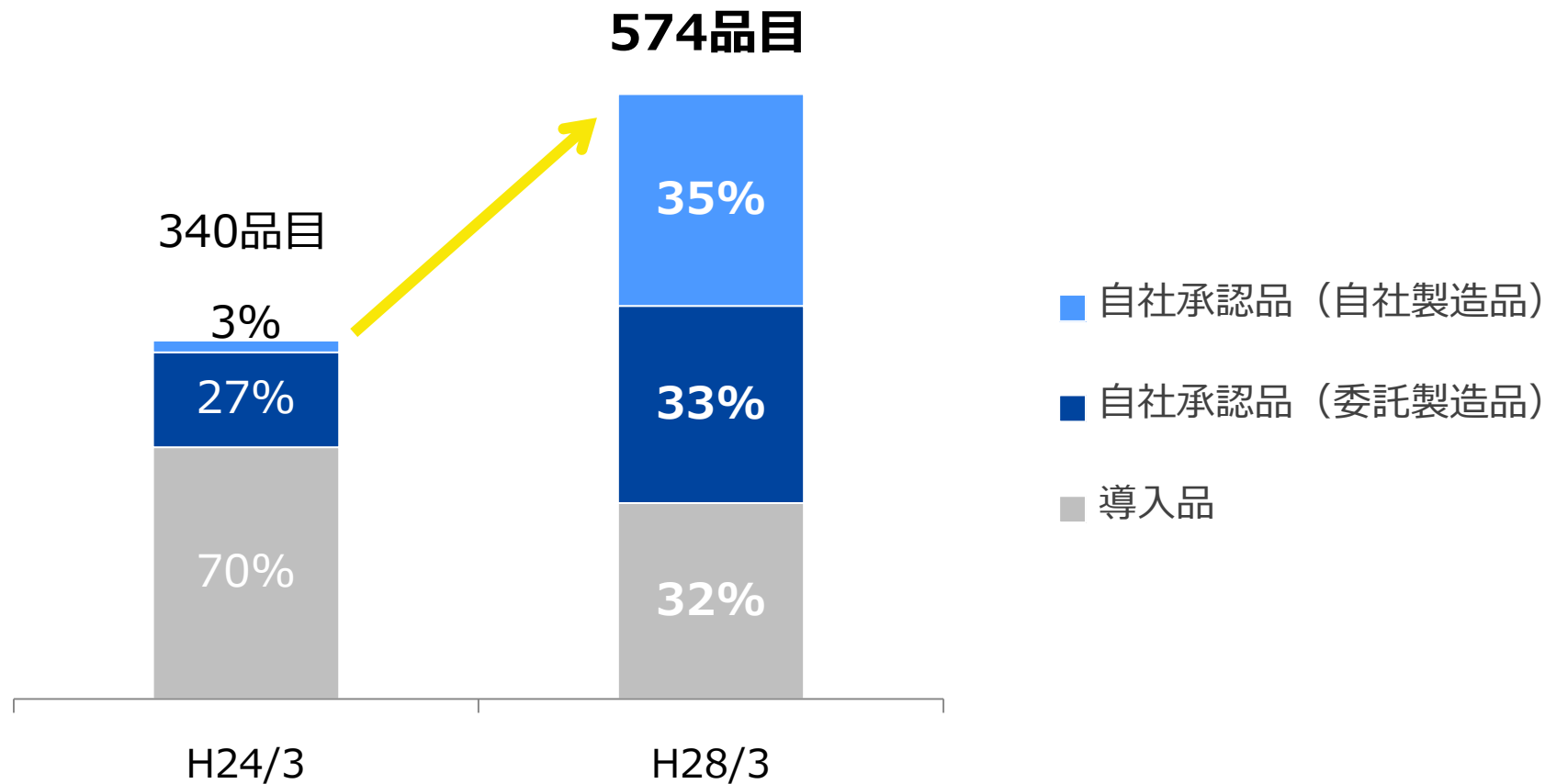
対象	改定前	改定後	変化
DPC対象病院 (機能評価係数Ⅱ (後発医薬品指数)の見直し)	評価上限60%	評価上限 70%	引き上げ
病院 (後発医薬品使用体制加算の 指標の見直し)	採用品目割合 加算1 (旧指標30%以上 : 35点) 加算2 (旧指標20%以上 : 28点)	使用数量割合 加算1 (新指標70%以上 : 42点) 加算2 (新指標60%以上 : 35点) 加算3 (新指標50%以上 : 28点)	指標の変更
診療所 (外来後発医薬品 使用体制加算の評価)	(なし)	使用数量割合 加算1 (70%以上 : 4点) 加算2 (60%以上 : 3点)	新設

※出典：厚生労働省HP

ジェネリック医薬品市場の拡大

自社製造品の生産強化

◆ 販売品目の推移



生産能力の増強

◆年間最大生産能力（錠剤・カプセル剤）

（億錠）

社名	工場名	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3 (見込み)	計画
日本 ジェネリック	つくば工場（N棟）	10	10	10	10	10
	つくば工場（S棟）		13	13	26	26
	つくば第二工場					100
	春日部工場		9	9	9	9
長生堂製薬	本社工場	7	7	7	7	7
	本社第二工場		2	2	2	2
	川内工場	2	2	3	3	3
	合計	19億錠	43億錠	44億錠	57億錠	157億錠

「かかりつけ薬剤師」ニーズの高まり



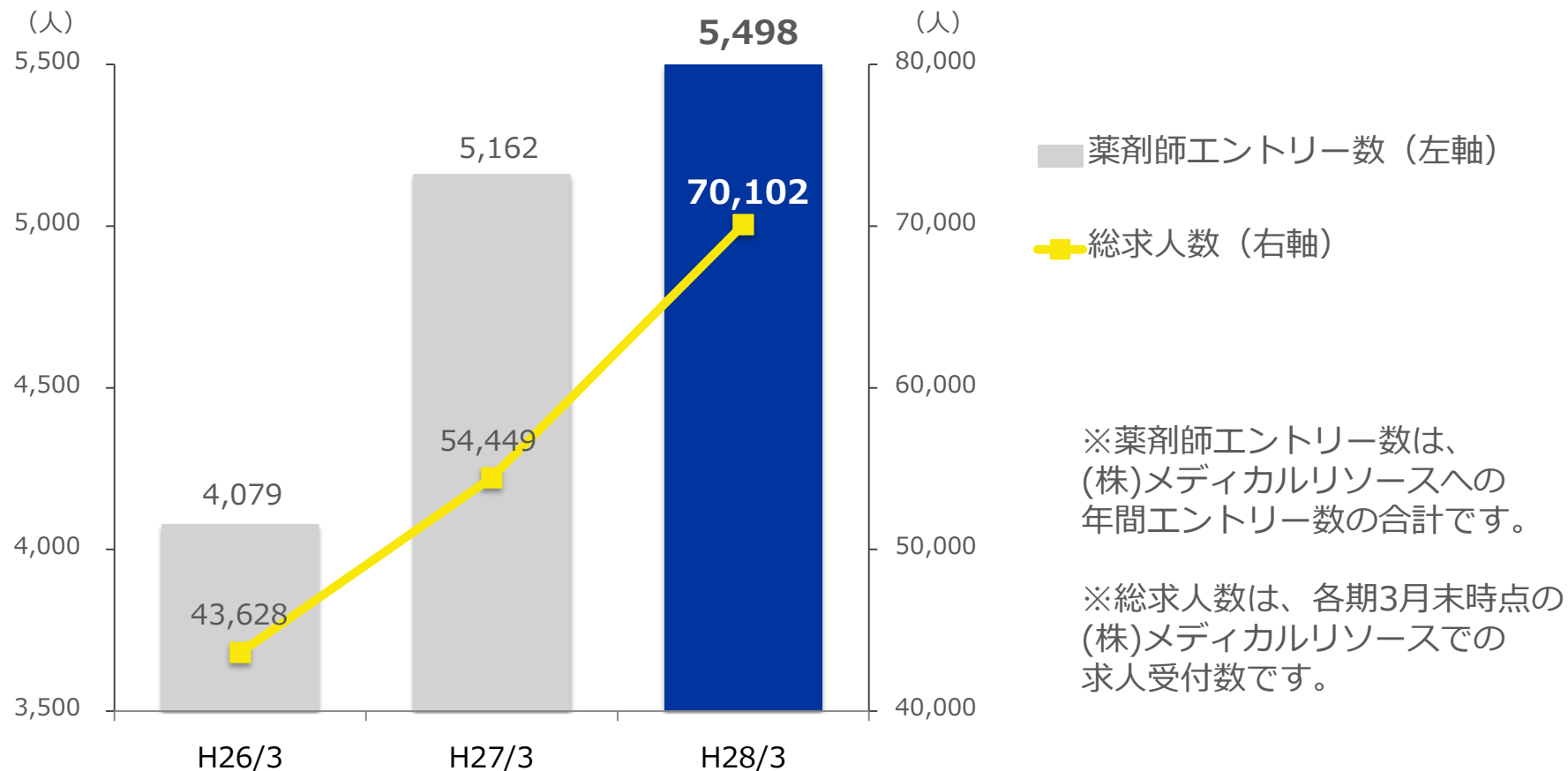
グループの強みを生かした “高付加価値”薬剤師の派遣

薬剤師
派遣紹介部門
トップシェア

業界屈指の
教育制度

エントリー数・求人数ともに増加基調

◆ 薬剤師エントリー数と総求人数





“医薬総合グループ”へ

注意事項

本資料は、本年4月28日に発表しました「平成28年3月期 決算短信」の決算補足説明資料として、同期間の業績動向を補足説明することを目的として作成したものです。本資料に掲載されている日本調剤株式会社及び同社子会社の業績目標、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、事業等のリスクや不確実な要因によっては、大きく変化する可能性があります。またその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘のため作成されたものではありません。投資を行う際には、十分に投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

【IRお問い合わせ先】

日本調剤株式会社

〒100-6737

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

グラントウキョウノースタワー37F

Tel : 03-6810-0800 (代表)
E-Mail : ir-info@nicho.co.jp
IR専用ページ : <http://www.nicho.co.jp/ir>
担当 : 経営企画部 IR担当まで